

CLT建築物の温湿度長期測定

■ 目的

木材は湿度に対してバッファーと考えられるが、CLT非住宅建築物の実測データは少ない。
本件では、CLT建築物で年間を通して継続的に温湿度計測を行い、その調湿性能を検証し、
木造CLT建築物および、内装木質化による温湿度データ蓄積を目的とする。

■ 計測概要

・計測期間

2018年4月～継続中

・測定対象建物

ナイス(株) 仙台物流センター事務所棟(宮城県多賀城市、2017年3月竣工)
木造(CLT)+鉄筋コンクリートの混構造。
事務所部分の内装はCLTが現しになっている。



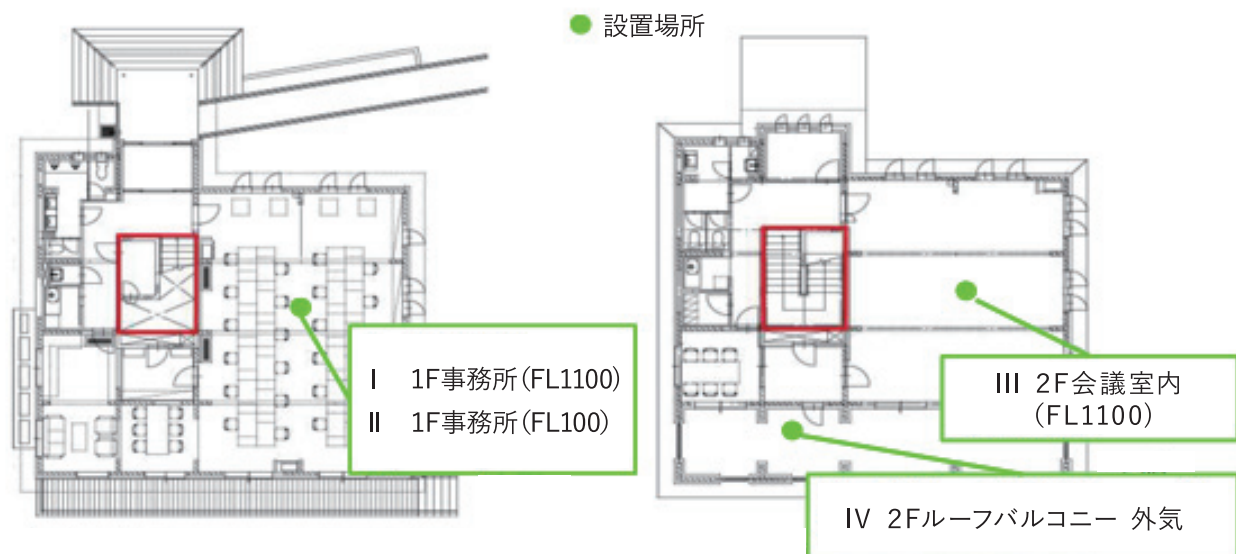
・測定機械

(株)T and D社 おんどとり TR-72nw×4台(30分に一回計測)

・測定場所

下図参照

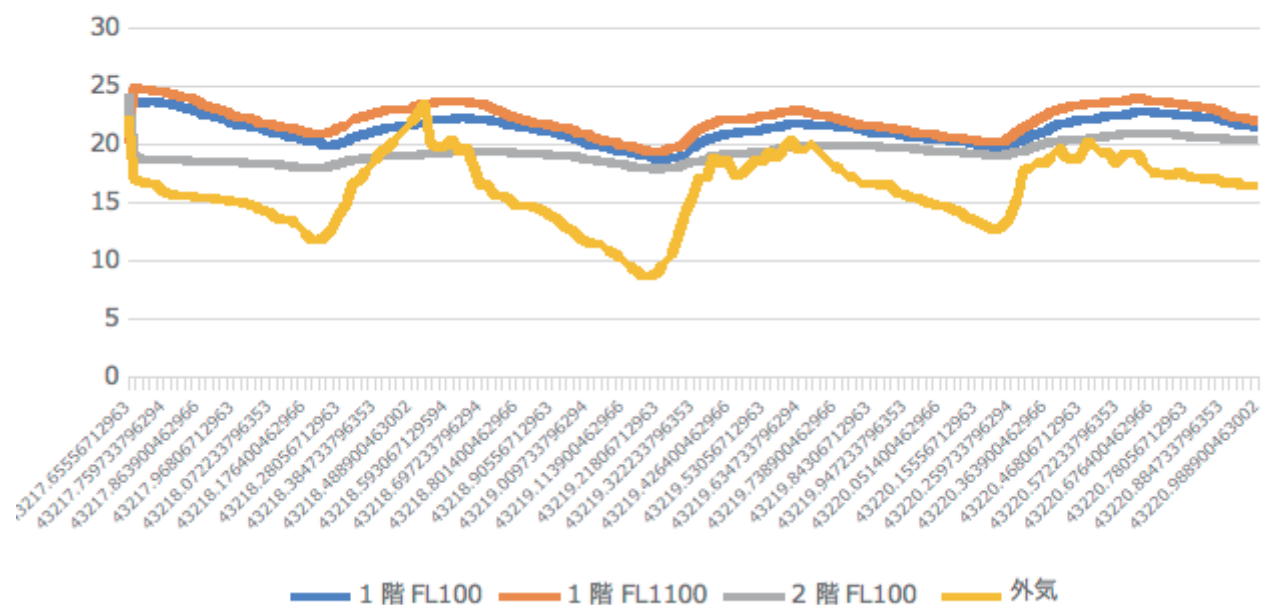
〈平面図〉



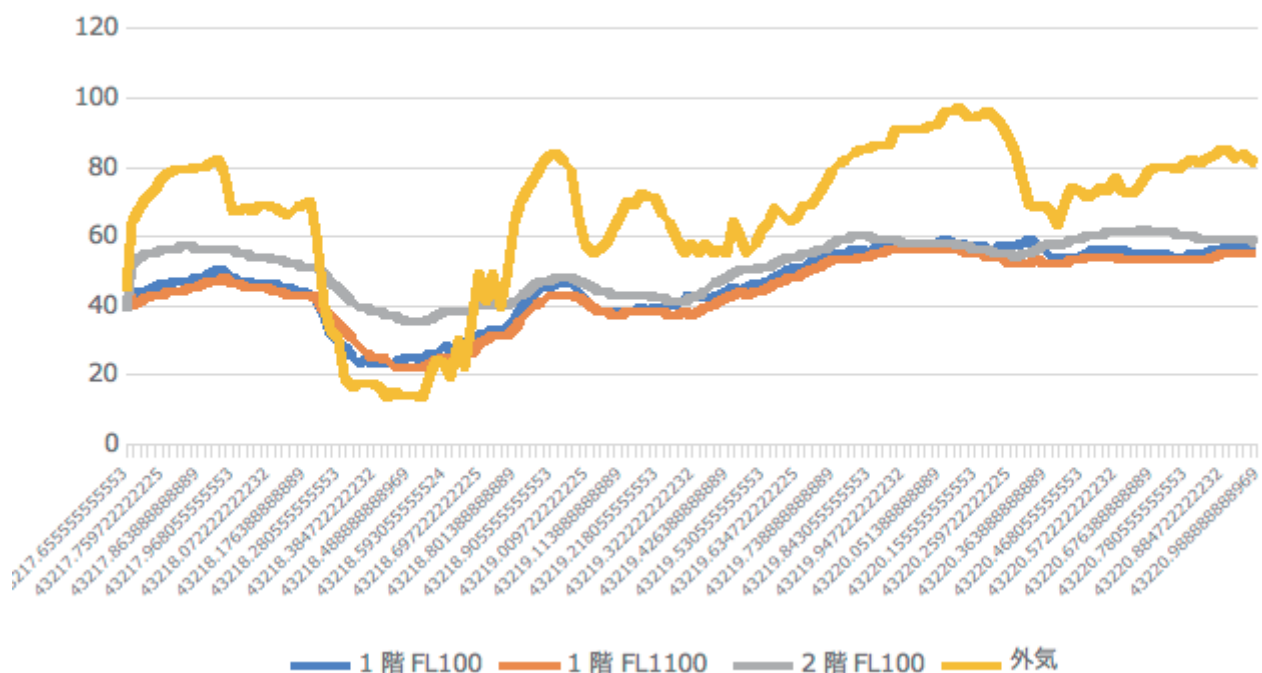
階段室(赤線で囲んだ部分)をRC造とし、その他をCLTによる木造とした平面混構造で計画

CLT建築物の温湿度長期測定(2018年度から継続)

温度変化 180427-0430



湿度変化 180427-0430



CLT建築物の温湿度長期測定(2018年度から継続)

湿度外気と1F100-1F1000-2F100との関係

